

(表)

年 月 日					
峰山消防署長		様			
		住所 申告者 職業(職) 電話 氏 名			
不 動 産 り 災 申 告 書					
1	り災年月日	年 月 日	り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者	
	り災場所				
2	建築・購入年月日	建築又は購入金額			
	推定・記録・記憶	推定・記録・記憶・不明			
	年 月	1㎡(坪)当たりの金額(円)	総金額(円)		
取 得 後 の 経 過					
3	修繕・改築	年 月	修繕・改築した箇所	修繕・改築に要した金額(円)	
		年 月			
	増築	年 月	増築の概要	増築面積(m <sup>2</sup> )	増築に要した金額(円)
		年 月			
り 災 前 の 建 物 詳 細					
4	建物の用途	屋 根	外 壁	階 数	延べ面積(m <sup>2</sup> )
	居住世帯数	世帯	居住人員	人	
建 物 ・ 収 容 物 以 外 の り 災 状 況					
5	り災物件名	り災の別	数量又は面積	経過年数	
		焼・爆・他		年	
		焼・爆・他		年	
		焼・爆・他		年	
		焼・爆・他		年	
火 災 保 険 の 契 約					
6	契約会社名	契約年月	保険金額(万円)		

(裏)

不動産り災申告書記載要領

(1の欄)

り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

(2の欄)

- 1 建築、購入年月及び金額の欄は、記録(帳簿、契約書等)によって明らかなものなのか、推定によるものかなど、あてはまるものを○で囲んでください。
- 2 金額の欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた1㎡当たりの金額と、総金額を円単位で記入してください。

(3の欄)

- 1 取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕、改築又は増築があった場合に記入してください。
- 2 修繕・改築又は増築の欄は、いつ、どこの部分を、どのくらい(㎡)、修繕、改築又は増築し、いくら(金額)かかったかを記入してください。

	年 月	修繕等した箇所		金 額
例)改築	平成2年8月	1階事務所部分	30㎡	3,532,500円
例)増築	昭和59年4月	2階住宅	20㎡	1,520,000円

(4の欄)

- 1 り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数及び延べ面積を記入してください。

	用 途	屋 根	外 壁	階数	延べ面積
例)住 宅		日本瓦	モルタル	2階建	75㎡
例)店舗・住宅		亜鉛鉄板	石綿セメント板	3階建	135㎡

- 2 居住世帯数・居住人員の欄は、建物内すべてに居住する世帯と人員を記入してください。

(5の欄)

- 1 建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀等がり災した場合に記入してください。
- 2 り災別の欄は、当てはまるものを○で囲んでください。
  - (1) 焼：火災によって焼けたもの及び熱によって炭化、熔融、破損又は煙により汚れたもの等
  - (2) 爆：爆発により、壊れたもの等
  - (3) 他：消火のために受けた水損、破損、汚損したもの等

(6の欄)

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万円単位で記入してください。

備考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 4 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 5 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 6 この申告書でわからないことがありましたら、下記消防署まで御連絡ください。

峰山消防署 分署 分遣所  
電話 —0119